

物部川清流保全推進協議会部会「濁水対策を進めるWG」濁水対策勉強会

日 時： 平成24年6月11日（月）10:00～11:00

場 所： JA土佐香美青壮年部役員のほ場

参加者： 13名（内訳：JA土佐香美青壮年部4名、関係機関7名、県職員2名）

内容

「濁水対策を進めるワーキング」では、流域で水稻栽培を営む農業者に代かき濁水の現状と対策を理解してもらうことの重要性を再認識し、各関係機関による従来の広報に加えて、啓発チラシの配布や各種会議での周知などの広報活動を展開しています。



これらの広報活動のひとつとして、JA土佐香美及びJA土佐香美青壮年部の協力により、代かき時期の農業濁水対策の実演を交えた勉強会を開催しました。平成24年3月に行われたJA南国市管内での勉強会に続く第2弾です。

まず、中央東農業振興センターから、環境に配慮した稲作に関する他府県の実践状況に関する情報提供があったほか、当日の浅水代かきの実施方法についての説明を受けました。

続いて、JA土佐香美青壮年部役員による浅水代かきの実演の様子を見学しました。



その後の意見交換では、「田んぼの土の状態によってはある程度の水がないと代かきにならないというところもあるし、風の強さなどの気象条件によっても変わる。」という意見や、「田んぼから濁水を出さないという意識があれば、条件に応じて作業上の調整は可能では。」という意見がありました。

また、「肥料と濁水を田んぼの外に出さないのは農家のマナーだ。」という意見のほか、「取組みを進めるにあたっては、農家が努力するだけでなく、地域全体で理解を深めていくことが重要だ。」といった話も聞かれました。



「濁水対策を進めるワーキング」では今後、これまでの実演を通じて得られた意見を参考にしながら、ひとりでも多くの農業者の理解が得られることをめざして、広報活動を継続していきます。